

平成24年度

○第18回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成25年2月14日(木) 午後3時50分から午後5時30分頃まで
対話テーマ	女性の力で中小企業を元気にしよう
対話場所	甲府市飯田 「山梨県中小企業会館」
参加者	やまなし女性四つ葉会 15人(中小企業団体中央会会員組合企業の女性経営者等で構成された団体)
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・ワインづくりには「ぶどう」という地域の産物が必要となるので、地域との関わり、信頼関係がないと良いワインはできない。常に、地域に何が還元できるのか考えながら取り組んでいる。・家業を支えていくために、地域の中で必要とされる店になることを目指している。これからも、その基盤となる地域を活性化するために行政のサポートもいただきながら、努力していきたい。・女性の視点からの「おもてなし」の心を常に持つように心がけ、接客している。・地域資源の歴史にスポットを当てた新たな顧客層の獲得に力を入れているが、地域資源を開発するという、いつもとは違う視点で地域を見るとすごくいろいろなことが見えてくる。・伝統産業全体に言えることであるが、伝統に頼り切っていたところもあり、企業数が減ってきているので、イベント開催などのPR活動もままならない状況である。日本の伝統文化を見直す機会を作っていただくなどして、後世に日本の文化を伝えていけたらと思っている。  
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・中小企業に対する支援というのは、行政の中でも大変重要な分野であるため、力を入れて取り組んでいるが、まだまだ足らざる点も多いと思うので、率直なご意見を伺いたい。・本県の3大地場産業であるワイン、ジュエリー、テキスタイルは、若い方々が自社ブランドを作るなど様々な工夫をしながら努力をされているので、見通しは明るいと思っている。・単にワイン、ぶどうだけではなく、地域資源をかみ合わせたツーリズムを組めば有効だと思う。・安倍内閣になって、経済に明るい兆しが見えてきているが、企業の経営というものはちょっと気を抜けばすぐに厳しくなる。皆さん方が自分の社業を発展させるために懸命に努力していただき、それに対し、県としても、引き続き、できる限りの支援を行って参りたい。  